



F
Field

A
Adventure

C
Club

**** 幼児期は人格形成の基礎を培う重要な時期です ****

幼児期は、知識や技能を一方向的に教えられて身につけていく時期ではなく、環境や遊び、体験を通して、人格形成の基礎となる豊かな心情、態度などが培われる時期です。

フィールドアドベンチャークラブ

(略してFAC)は

様々な環境のもと

大人が適切にかかわりながら

こども自身の興味発見から

主体的な行動や考える力を促すための

総合的な「**教育 体験**」活動です。

みなみの風3園の保育教育内容でもその目的を果たすことができますが、さらにその上を望まれる方向けの**有料のプログラム**となります。

※みなみの風3園・・・こども園、ファミリー保育園、花と緑の保育園

みなみの風3園との位置付けは以下のように考えます

みなみの風

FAC

みなみの風こども園
ファミリー保育園
花と緑の保育園

生きる力の素地

幼児期の育ちを豊かにする要素

確かな学力

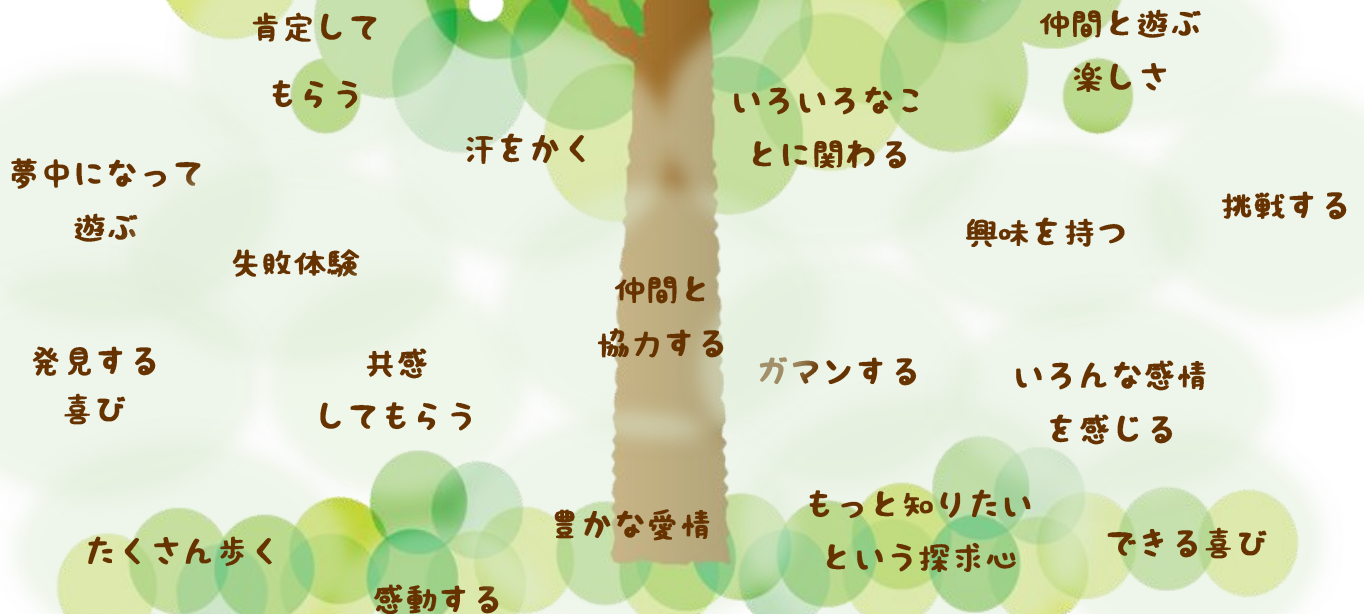
自ら学び、自ら考え、判断する
社会に適応しながら
問題解決する資質や能力

豊かな人間性

自らを律しつつ他人と共に協調し
人を思いやる心や感動する心

健康・体力

逞しく生きるための強いからだとしなやかな心



FACに必要な4つ要素

★★★★ 安心感

基本的信頼感の確立

まず一番重要な要素はこども達一人一人の中に芽生えた「安心感」です。

自分に対する安心感、保育者に対する安心感、みなみの風に対する安心感があってこそ様々な「冒険活動」が成立すると考えています。その子の核となる安心感が育ってないと、何が大丈夫で何が危険かわからないため、園外に出るの活動は行えません。

★★★ 環境

自然や地域、公共、文化といった様々な体験ができる環境を準備します。

こども達が様々な形で自然や地域と触れ合うことができる環境であれば、どこでも活動できます。季節や天候も環境の一つであり、臨機応変にそれぞれの天候も加味した活動を行います。また環境という刺激を通してこどもたちは五感を高め、興味を深め、学ぶ力を培い、生きる力を伸ばします。

★★ 保育者のかかわり

FACでは3つ目の重要ポイントとして「保育者」を位置付けています。

引率する保育者は、みなみの風の保育者なら誰でもOKと言うわけではありません。残念ながら全ての保育者がみなみの風の保育を実践できる状況までは育っていません。FACでは、日常の保育教育とは違い、一定のスキルと人格を持ち合わせた保育者を限定して活動を行います。

(インターンシップ、運転手や付き添いなど例外もあります)

* FACを実践する保育者とは *

こどもや保護者との信頼関係のもと

こども達一人一人の状態(年齢、性格、体力、身体発達、理解力、精神発達など)を受け止め、理解しその時々の子どもに合った適切なかかわり、働きかけ(見守る、教える、叱る、援助、応援、課題設定、言葉がけ)ができること。

★ プログラム・活動内容

園から外のフィールドへ出る目的、ねらいを明確にする。それぞれの活動が単発的な物ではなく、一つの活動が関連しながらこども達の成長発達につながるよう構成していきます。



FACの教育効果は総合的

FACはただ楽しいだけの活動ではありません。

様々な体験活動と保育者のかかわりを通して、将来の知的学習へ興味関心が向くよう思考力・発想力・発言力・集中力・理解力といった総合的な力が育つよう考えられています。

■発見の時間

いろんな環境の中で、生き物や草花、雨や風、暑さ寒さなど、活動の中で子ども達が気づき見つけられることはたくさんあり、まさに発見の連続です。保育者は子ども達の発見の共感者となり、的確な応答をすることで、子ども達は肯定感を感じ充足した人間関係のモデルを体験していきます。

■自分で考えて行動する時間

いろんな環境の中で、保育者は先取りをせず、子ども達にたくさんの考えるきっかけを作ります。また子ども達との会話の中で子ども達が発語する問いかけを心がけ、子どもが考え会話の内容を吟味し充実させる機会が得られるよう配慮しています。体験や会話を通じて考える力を育て、機転が利く、よく気が付く、賢いなどと言われる反応の確かな子に育っていきます。

■秩序を学び環境をそのまま受け入れる時間

社会の秩序や摂理、自然の偉大さを体験しながら、学んでいきます。

■自然に合わせ自分を変化させる時間

暑さ寒さを自分自身で感じ、考えて調節していきます。気温の変化や天候に応じて身支度を変化させ、自分の状態を変化させることで自然に対して対応できることを学びます。

■冒険心を発揮する時間

好奇心や意欲が育った子どもは、様々な環境で冒険心を発揮していきます。いろんな試みや体験を通じて自分の力量を知りチャレンジを繰り返します。

■危険や怖さを知る時間

怖さを感じるのも貴重な経験です。子ども達は大人に指示されるのではなく、自分で判断して、躊躇したりチャレンジするのをやめたり、自分たちの裁量にまかされて行動します。保育者は子ども達の心の中で何が起きているのかを常に観察し、いつでも手を指し伸ばせる状況を作りながら、危険が及ばない限り見守ります。

■心の柔軟さと適応力を得る時間

衣服や身体が汚れたりするのも当たり前、体をきれいにしたり洋服を着替えることも自発的にこなします。
そして自分に関わる様々な状況を柔軟に受けれるようになります。



FACで子どもたちにはどんな変化が期待できる！？

【身体的変化】

- 多様な環境の中での活動で身体への刺激が与えられ身のこなしが充実します。
- 子ども自身の行動の積み重ねが、身体の発達に影響し体幹が鍛えられます。
- 体力が向上し身体を動かすことへの抵抗感が薄れ、疲れを訴えることもなくなります。

【内面的変化】

- 様々な体験の積み重ねにより、自ら考え行動するようになります。
- 精神面の強さに兼ね備えた前向きさを持ちます。
- 様々な事象に出会い、興味を示すことで好奇心旺盛になります。
- 興味関心により行動し、自ら動くことを繰り返し自立が促されます。

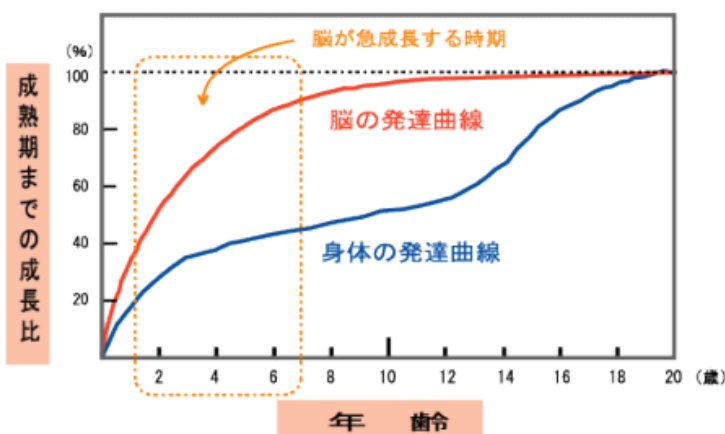
【人間的な変化】

- 子ども同士、保育者との人間関係の中で相手の気持ちを受容したり、子ども同士が助け合い年長児が年下の子の手助けをすることが多く認められます。
- 年長児が取り組んでいることを見て、年下の子が同じように行なおうと模倣し、年下の子たちの能力が向上します。
- 年齢が進むことと成長がつながっていることに気付き、年長者としての自覚が進みます。

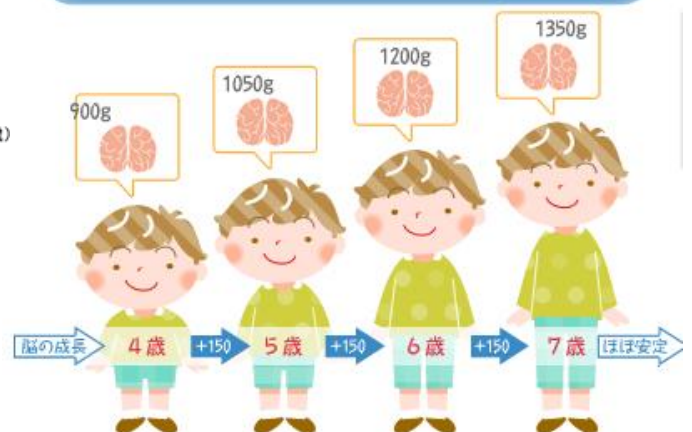
【知的発達の変化】

- 多種多様な活動は、脳や神経系に良い影響を与える。
- たくさん遊びよく食べ、質の良い睡眠が確保できる
- 体験から感じたことを言葉や絵、形にすることで豊かな表現力を獲得します。

【 脳と身体の発育曲線 】



人間の脳は7歳までに急成長します



脳の発達と同時に神経系も

『4歳～6歳』にほぼ完成します

過去の活動実績 (30年度実績)

月	行った場所	月	行った場所
4月	平成の森公園・御手水池	10月	福岡市動植物園・海浜公園・マリンワールド・東平尾公園
5月	御手水池・平成の森公園・和白干潟	11月	みかん狩り(古賀)・海浜公園・山登り(三日月山・立花山)
6月	鷲与丁公園・海浜公園	12月	海浜公園・プラネタリウム
7月	海浜公園(じゃぶじゃぶ池)・鳴淵ダム	1月	太宰府天満宮・映画鑑賞
8月	新幹線・オープントップバス・市営渡船・鳴淵ダム	2月	いちご狩り
9月	海浜公園(じゃぶじゃぶ池)・仲島水辺公園・大濠公園	3月	森のようちえん(大宰府)
※8月は「乗り物に乗る」活動を行いました			

保護者の皆さんに必要なこと

★今のお子さんにFACが必要かを客観的に判断する

“みんなが行くのに、うちの子だけ行けないのはかわいそう” “楽しそうだから行かせたい” ではなく、現在のお子さんの発達等をしっかり見極め必要な活動かどうかを判断してください。

★みなみの風や保育者が信頼できる存在か、家族で話し合い確認する

冒険活動では時に危険と思われる活動を行うこともあります。わからないことは質問し、必要に応じて意見や要望も遠慮なく伝えていただき、活動がより豊かなものとなるよう、ご協力をお願いいたします。残念ながらまだみなみの風や職員が信頼の対象となっていない場合は、その時がくるまで申し込みは控えてください。お互いの信頼関係が構築されていないと、後にトラブルの元となります。

★季節や活動に合わせて必要な道具・服装を予め揃えておく

全ての荷物が入る大きめのリュックサック、川や海で活動を行う時はマリンシューズや長靴、水遊び道具、山登りや森遊び等では靴、ウインドブレーカーやフード付きの防寒着・レインコート、軍手、手袋やニット帽など季節に合わせて必要なものを準備していただきます。

★プリントなどで予定を確認し、必要な道具、服装をお子さんが準備できるよう見守る

園の行事や職員の配置等の関係で開催曜日が不定期です。また活動内容により、持ち物や参加するお子さんのグループ編成が変わります。こどもたちには自分で用意できるよう事前にお話をしていますので、ご家庭での準備の際は基本的にこども達が自分でできるよう配慮頂きたいと思っております。万が一忘れ物があっても、失敗から問題の解決方法を考えるチャンスになります。忘れ物＝失敗を恐れず、それも貴重な体験と捉えて、こどもたちが自分で準備する習慣が身につくよう、ご協力をお願いいたします。

★お弁当を作る

活動によってお弁当が必要になりますので、必要に応じてお弁当の準備をお願いいたします。森遊びでは「おいも」などたき火で焼くものや、「みそ汁の具」などお弁当以外の食材をお願いすることがあります。

★活動に合わせて登園時間を確認し、遅れないよう送る

活動内容や交通手段、行き先によって登園時間が異なります。毎回プリントで確認して、遅れないようお願いいたします。

★活動後のこども達の話に耳を傾け、その感情や言葉に共感する

お迎えや帰宅後にこども達はいろんな体験や出来事を保護者の皆さんにたくさんお話すると思います。お忙しいと思いますが、しっかり耳を傾け、共感してあげてください。

毎月の活動の流れ

	保護者の方へ	こどもに向けて
① <u>当月 FAC のお知らせ</u> 時期:前月末または月初め	プリントを配布します	スライドを使って前月の振り返りと当月予定についてのお話
② <u>前日のお話</u> 時期:活動の1~2日前	安全な活動に向けて最も重要なステップです。できる限り登園をお願いします	スライドを使って次のFACに向けてのお話 こども用プリントを自分でノートに貼る
③ <u>FAC 活動</u> 時期:活動当日	集合時間に遅れないよう、登園をお願いします	事前のお話→活動→振り返り
④ <u>FAC 報告</u> 時期:活動後(1~2日後)	報告のお手紙を作成し、ノートに貼ります	

①は月に1回、②~④は、毎回のFACの活動ごとに繰り返されます。

★安全な活動とこどもたちの成長・発達にとって最も重要なステップは『②前日のお話』です。どうしてもやむを得ない場合を除き、前日のお話は必ず参加できるようご協力をお願いします。



みなみの風